

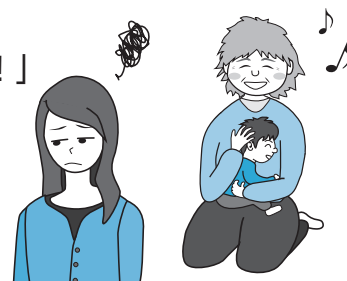
プログラム
Ⅱ-1

子育ての主役は誰？
～祖父母・家族の役割を考える～

エピソード

祖母アケミさんの家に親戚が一堂に集まった時の出来事です。
「ケント、ダメじゃない。」
ケントくんが、いたずらをしたので、母ユキコさんは叱りました。すると
「ユキコさん、何もそんなことで、怒らなくてもいいんじゃないの。ケントがかわいそうよ！」
とアケミさんが言いました。ケントくんは、叱ったお母さんを横目に、アケミさんに抱き付きました。そして、おばミキコさんが
「そうよ、そのくらいのことで。ユキコさんは叱りすぎよ！」
と、ケントくんの頭を撫でながら言いました。

ユキコさんは、何ともやるせない気持ちになり、
部屋を出ていきました。



ワーク 1

エピソードを読んで次のことについて話し合みましょう。
このときの母ユキコさんの気持ちを考えてみましょう。

ワーク 2

かばった祖母アケミさんの気持ちを考えてみましょう。

ワーク 3

ユキコさんが叱ったとき、周りの祖母アケミさんやおばミキコさんは、どんな風に行動すればよかったですか。

ふりかえり

どんなことに気づきましたか。

プログラム
Ⅱ-2

親の親だからこそ①
～祖父母だからできること～

エピソード

祖母ヨシさんは、先日、昔の物を整理していたら、息子が大好きだった絵本が出てきました。息子が何度も何度も読んでといった懐かしい本です。

ある日、孫のユウくんが遊びにきました。いつものようにゲームで遊ぼうとしましたがヨシ:「ユウくん、おばあちゃんが絵本読んであげるよ。お膝に座って。」

ユウ:「おばあちゃん、本、おもしろい。もっと読んで!」

ヨシ:「お父さんも子どものころに、この絵本が好きだったんだよ…」

ユウ:「お父さんも…?」

ヨシ:「そうだよ、ここのページが大好きで何回も

『読んで、読んで』って言ったんだよ。」

ユウ:「僕もここ、好き!」

ユウくんも、ニッコリ笑顔になりました。



ワーク 1

エピソードを読んで次のことについて話し合みましょう。
祖母ヨシさんの気持ちを考えてみましょう。

ワーク 2

孫が喜ぶのは、どんな時なのでしょう?

ふりかえり

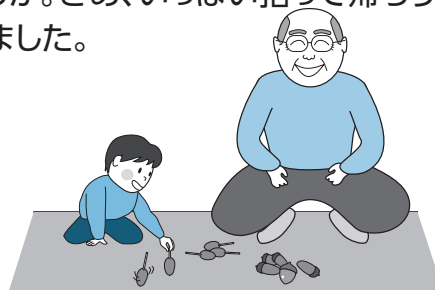
どんなことに気づきましたか。

プログラム
Ⅱ-3

親の親だからこそ②
～祖父母だからできること～

エピソード

離れて暮らす孫ショウタくんが家に遊びに来ました。
祖父コウイチさんは、新しいおもちゃを用意しておきたいと思いましたが、今回は準備できず、少し残念に思っています。
天気がよかったので、コウイチさんはショウタさんと公園に散歩に行くことにしました。
ショウタ:「おじいちゃん、これ何?」
コウイチ:「ドングリだよ。よし!これで何かつくって遊ぼうか。さあ、いっぱい拾って帰ろう!」
家に帰り、コウイチさんは、千枚通しと楊枝を用意しました。
ショウタ:「おじいちゃん、何、作るの?」
コウイチ:「うーん、何ができるかな。一緒に作るよ!」
ショウタ:「わあ、コマだ。」
ショウタくんは、そのあと、何度も何度もドングリのコマを回していました。



ワーク 1

エピソードを読んで次のことについて話し合みましょう。
祖父コウイチさんの気持ちを考えてみましょう。

ワーク 2

孫が喜ぶのは、どんな時なのでしょう?

ふりかえり

どんなことに気づきましたか。